

ホタテガイ採苗速報

一部地域で大規模な産卵が始まりました

平成29年2月16日～23日に湾内8地点で養殖2年貝の成熟度調査を、2月20日に東湾2地点で地まき貝の成熟度調査を、2月27日に湾内9地点でラーバ予備調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均と全湾平均ではそれぞれ22.8、22.0と、前回(それぞれ26.4、24.6)よりも減少し、東湾平均では21.2と、前回(22.7)よりもやや減少し、一部地域で産卵が始まった模様です(図1～2)。異常貝率は、西湾平均では47.5%、東湾平均では3.3%といずれも平年(それぞれ5.4%、1.5%)よりも高い状況です。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は、東湾平均で19.9と前回(19.8)とほぼ同じ状況となっています(図3)。異常貝率は、0%と平年(1.7%)よりも低い状況です。各地の測定結果は表2のとおりです。

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 2月20日)

調査地点	調査日	殻長(cm)	全重量(g)	軟体部重量(g)	軟体部指数	生殖巣重量(g)	生殖巣指数	異常貝率(%)
蓬田村	2月16日	10.8	139.1	52.9	37.6	13.6	25.6 [29.1]	80.0 (6.7)
青森市奥内	2月21日	11.4	157.3	50.6	32.2	9.6	18.8 [29.7]	30.0 (3.0)
久栗坂実験漁場	2月20日	11.9	190.2	79.7	41.9	19.9	24.9 [25.2]	73.3 (3.2)
平内町浦田	2月23日	10.3	117.3	48.6	41.5	10.7	22.0 [21.5]	6.7 (6.4)
西湾平均		11.1	151.0	58.0	38.3	13.5	22.8 [26.4]	47.5 (5.4)
野辺地町	2月20日	11.4	174.5	78.3	44.9	16.2	20.7 [27.0]	0.0 (0.4)
むつ市	2月20日	9.8	108.6	50.7	46.8	12.1	23.6 [22.8]	3.3 (1.3)
川内町	2月20日	10.6	131.3	57.9	44.1	10.3	17.6 [17.0]	3.3 (1.9)
川内実験漁場	2月20日	11.8	173.4	80.7	46.5	18.5	22.9 [24.1]	6.7 (2.0)
東湾平均		10.9	147.0	66.9	45.6	14.3	21.2 [22.7]	3.3 (1.5)
全湾平均		11.0	149.0	62.4	41.9	13.9	22.0 [24.6]	25.4 (3.7)

(): H5-H28の平年値
[]: 前回の値

表2 地まき貝の測定結果(調査基準日 2月20日)

調査地点	調査日	殻長(cm)	全重量(g)	軟体部重量(g)	軟体部指数	生殖巣重量(g)	生殖巣指数	異常貝率(%)
野辺地町	欠測							
むつ市	2月20日	12.1	207.7	96.9	46.6	21.3	21.8 [23.5]	0.0 (2.3)
川内町	2月20日	11.0	155.8	62.6	40.2	11.3	18.0 [18.6]	0.0 (0.9)
東湾平均		11.6	181.8	79.8	43.4	16.3	19.9 [19.8]	0.0 (1.7)

(): H5-H28の平年値
[]: 前回の値

2 海況

各ブイの2月21日～27日の週別平均水温は表3のとおりです。半旬別水温は、平館ブイと東湾ブイの15m層で平年並み、青森ブイの15m層で平年よりやや高めとなっています。

表3 各ブイの1週間(2/21～2/27)の週別平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	8.1～8.6	東田沢ブイ	-	川内ブイ	4.2～4.2
蓬田ブイ	7.9～8.2	野辺地ブイ	5.3～5.4		
奥内ブイ	7.1～7.2	東湾ブイ	4.3～4.4		
青森ブイ	7.0～7.1	横浜ブイ	4.0～4.1		
浦田ブイ	-	浜奥内ブイ	3.0～3.2		

--: メンテナンス中

3 ホタテガイ等ラーバ予備調査

ホタテガイのラーバ出現数は、西湾平均で566個/m²と、昨年同期(2月23日)調査時(463個/m²)よりも多く、東湾平均では1,966個/m²と、昨年同期調査時(3,811個/m²)よりも少ない値でした(図4～5)。

ムラサキイガイとキヌマトイガイのラーバ出現数は全湾平均でそれぞれ50個/m²、324個/m²と、昨年同期(それぞれ85個/m²、610個/m²)よりも少ない値でした(図6～7)。

4 今後の見込み

一部の地域で大規模な産卵が始まりました。今後、水温の昇温刺激があると、全湾で大規模な産卵が始まる可能性があります。また、昨年と同様に小型のホタテガイラーバが多く出現しており、今後も水温が平年並みから高めに推移すれば、採苗器の投入開始時期は、西湾で3月末、東湾で4月中旬になる見込みですので、採苗器を平年よりも早めに準備してください。

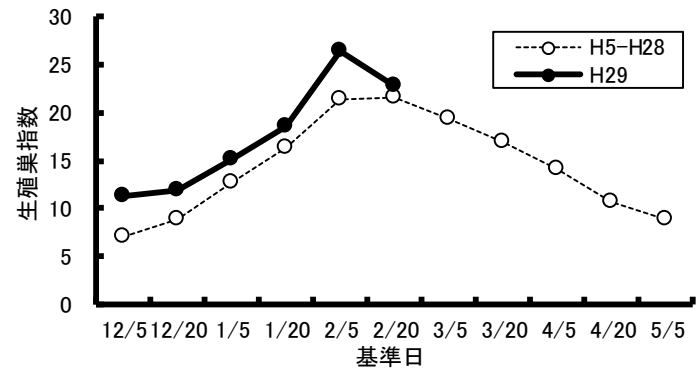


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

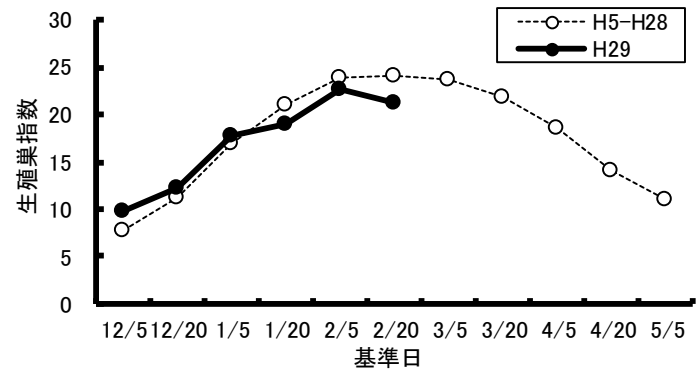


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

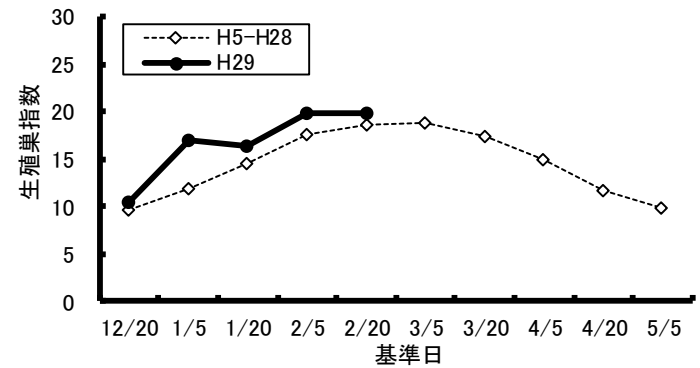


図3 地まき貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

広がる海の知識!

身につける新たな技術!

漁業後継者育成研修『賓陽塾』

塾生募集中!! 詳しくは水産総合研究所 ほたて貝部まで



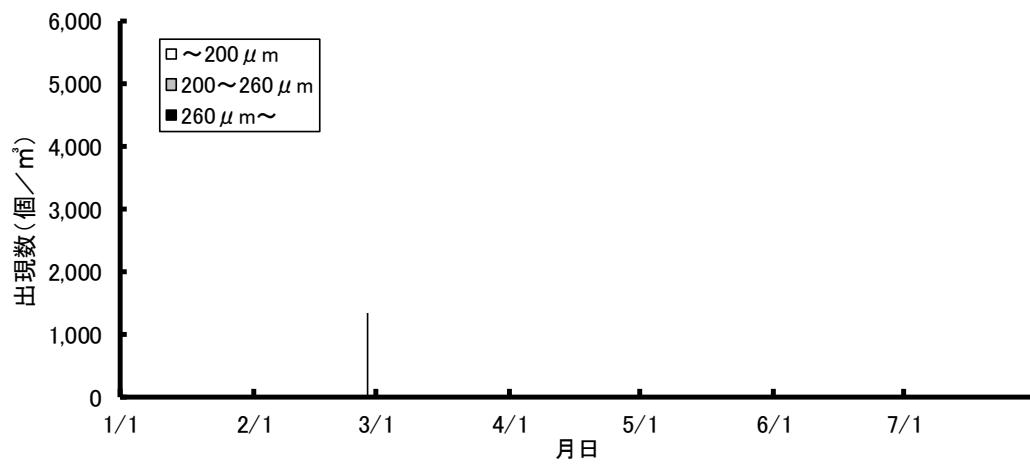


図4 全湾におけるホタテガイラーバ出現数

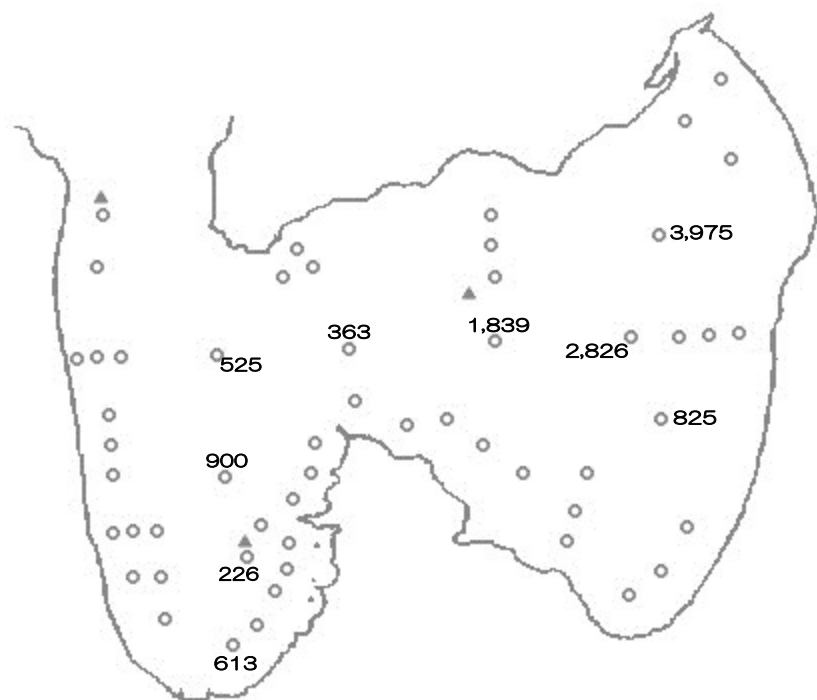


図5 調査地点別におけるホタテガイラーバの平均出現数 (個/m³)

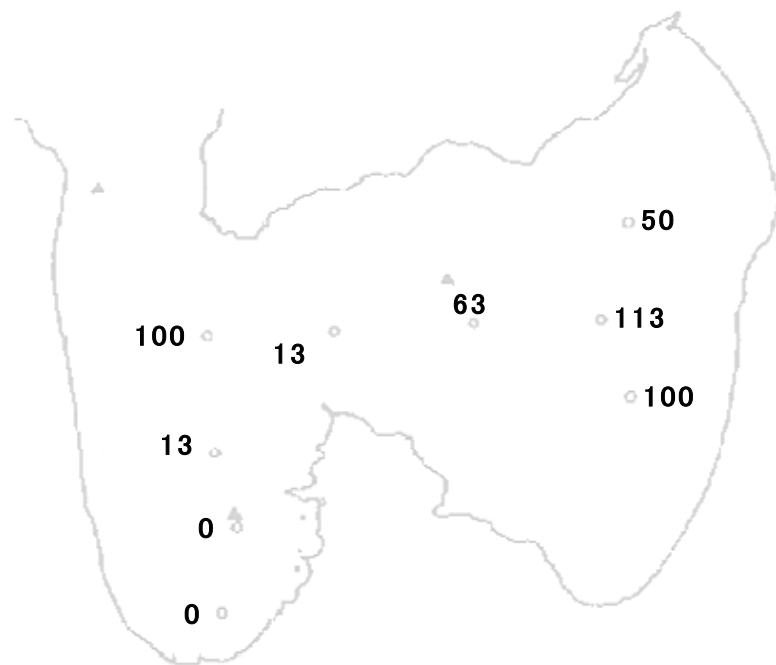


図6 調査地点別におけるムラサキイガイラーバの平均出現数 (個/m³)



図7 調査地点別におけるキヌマトイガイラーバの平均出現数 (個/m³)